

# 訓練サイト設営における留意事項

## 1 共通事項

- ・各サイトは、少なくとも1府県大隊以上の部隊が2日間の訓練を十分行える仕様とすること。
- ・各サイトの設営にあたり、事務局の訓練担当者と綿密に打合せを行い、実災害現場に近い状況の再現に務めること。
- ・隠し要救助者を設定するなど、コントローラーが時間管理し易いように工夫すること。
- ・高度救助資器材等を有効に活用できるような状況を再現すること。
- ・各救出訓練サイトにはダミー又は生体の要救助者を配置し、人命救助活動訓練が行える構造とすること。

## 2 各サイトの留意事項

### ア 倒壊家屋救出訓練

#### 【A棟 両日】

- ・共同住宅（木造想定）を想定した構造物とすること。
- ・大きな柱や梁の下敷きになっている要救助者（ダミー）を配置し、切断等しなければ救出できない状況を再現すること。
- ・切断箇所によっては2次崩落の危険性を再現できるよう工夫すること。

#### 【B・C棟（シナリオ型）2日目のみ】

- ・B棟は共同住宅、C棟は一般住宅を想定した構造物とすること。
- ・共に1階部が倒壊した想定とし、要救助者の捜索に困難な状況を作成すること。
- ・家財及び梁に挟まれている要救助者を複数配置し、切断等しなければ救出できない状況を再現すること。
- ・要救助者の滞在予想場所を検討できるよう、訓練で付与する情報と家財（洗濯機、こたつ、タンス等）の位置が一致するような配置とすること。

### イ 倒壊ビル救出訓練【両日（一部シナリオ型）2日目のみ】

- ・進入口は2カ所以上設定すること。時間の経過によって複数の進入口を開放できる構造物とすること。
- ・一般住宅の上に覆いかぶさるようにビルが斜めに傾いた状況を再現すること。
- ・医療連携を考慮して、救出活動と救命活動が同時に行える状況を作成すること。

### ウ トンネル崩落事故救出訓練【両日】

- ・トンネル内に配置する車種については問わないが、車両の上に重量物を載せたり車両同士の間隔を狭めたりするなど救助活動の難易度を上げる工夫をすること。
- ・運転席等で挟まれている要救助者を多数配置すること。
- ・トンネル出入口に、重機が必要なほど大量の崩落した土砂を用意し、排除してからトンネル内に入れるよう設定すること。

**エ 大規模（街区）火災消火訓練【（シナリオ型） 2 日目のみ】**

- ・壁面や屋根部分は木造建物であることが分かるように施工し、大雨、強風、大量放水等で破損や動揺しない構造とすること。
- ・訓練想定に合わせて風向きにより、その方角へ延焼拡大している状況を設定すること。

**オ 石油コンビナート消火訓練【（シナリオ型） 2 日目のみ】**

- ・陸側の消防車両、海側からの船舶等による放水の標的となるタンクを模した工作物を設けること。

**カ 斜面崩落救出訓練（車両）【両日】**

- ・地面を掘削し複数の車両を埋めること。
- ・要救助者は車内だけに限らず、車外にも配置すること。
- ・活動するエリアの上方に不安定な重量物を配置するなど、2 次崩落の危険性を再現できるよう工夫すること。

**キ 土砂災害救出訓練（家屋）【両日】**

- ・建物内部の要救助者の上に木材（丸太）、土砂、畳、岩などを配置し、要救助者にたどりつくためには、複数の障害物を撤去、破壊、空間の検索を行わなければならない設定とすること。
- ・土砂の流れてきた方向がわかるように土砂を堆積させること。
- ・建物内部に簡易な間仕切りを設定し、各部屋の用途が分かるよう家具等を配置すること。
- ・大きな岩のようなものを配置し、土砂監視センサー等の高度資器材を活用して 2 次災害発生を防止できるような状況を再現すること。

**ク 座屈ビル救出訓練（座屈ビル救出訓練は除く）**

**ケ 多重衝突事故救出訓練【両日】**

- ・車両の上に 1 m<sup>3</sup>程度のコンクリートブロックを設定すること。
- ・集団災害事案となるよう要救助者を多数配置すること。
- ・消防車のクレーンやウィンチ等の資器材を活用できるような状況を再現すること。

**コ 閉鎖空間救出訓練【両日】**

- ・閉鎖空間内部に C B 板を複数設定すること。閉鎖空間の再現についてはボックスカルバートを必須としない。
- ・体位変換を行うなど、工夫しなければ要救助者を救出できないほど狭隘な閉鎖空間とすること。
- ・閉鎖空間内部には、進入隊員が入れ替わる空間を設定すること。

#### サ 倒壊ビル地下駐車場崩落事故救出訓練【両日】

- ・地下駐車場の車両は外部から見えないようにすること。車両の上に重量物を載せること。
- ・進入口は2カ所以上設定すること。通常は1カ所のみ開放し、時間の経過によって2カ所目を開放できる構造物とすること。
- ・重量物を排除又は破壊しなければ進入できない状況を再現すること。
- ・地下駐車場内は狭隘な状況を再現すること。

#### シ 大規模陥没事故救出訓練

- ・陥没内部の状況がGLから見えないよう工夫することとするが、安全管理上一部GLから見えるように設定すること。最大深さ5m以上、直径10m以上の陥没とすること。
- ・水が流入する状況を再現すること。
- ・車両を破壊しなければ要救助者を救出できない状況を再現すること。